

清水町  **社協だより** No. **128**

社会福祉法人清水町社会福祉協議会 会長 原田茂徳 〒411-0903 清水町堂庭221-1 清水町福祉センター内 TEL.981-1665

放課後児童教室

赤い羽根共同募金の助成事業により、障害福祉サービス事業所からシフォンケーキとクッキーが放課後児童教室へ届けられ、おやつ時間に美味しく頂きました。



12月8日(火) 西小放課後児童教室

ご挨拶

清水町社会福祉協議会会長 原田 茂徳

令和三年の輝かしい新春を迎えられましたこととお慶び申し上げます。日頃より当社会福祉協議会にご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスに振り回された年となりました。二月頃から始まったコロナ禍は、世界中で猛威を振るい、当社協においても、施設管理や福祉事業について、町と連携を図りながら利用者の安全を第一に事業に取り組んでまいりました。町民の皆様には、大変ご不便をおかけしておりますが、皆様のご理解により感染防止が図られてきており、これも偏に皆様のご協力によるものであります。新年を迎えるにあたり改めてお礼申し上げます。

このような一年でありましたが、当社協の事業として生活困窮者の臨時休校による放課後児童教室の延長、急増する業務となりました。なお、高齢者福祉事業、介護保険事業、障害者福祉事業については、コロナ禍とはいえ、利用者に必要な事業でありますので、感染予防を第一に実施し、無事に事業を進めております。

このようなことから、41回続けてきた「清水町ふれあい広場」の開催も、残念ながら中止とさせていただきます。今年是非とも開催することができ、皆様とお会いできることを楽しみにしております。

「共同募金並びに歳末たすけあい募金」には、例年同様、皆様からの心温まる多くの募金が寄せられました。皆様の善意に心よりお礼申し上げますとともに本紙にてご報告いたします。また、各種事業や会館利用については、他の公共施設と同様に、臨時休館や制限利用など、感染状況による利用としております。今後、コロナが終息した際には、幅広くおしらせしてまいりますので、多くの方のご利用をお待ちしております。

先の見えない状況ですが、ワクチンも開発されてきておりますので、本年も引き続き新日常生活による感染予防に努めながら、一日も早いコロナの終息を祈念しております。希薄化してきたような社会状況の中で、コロナ禍がさらに追い打ちをかけてきたようにも思われます。この苦境をきつかけに、現在の社会の在り方を見直す時期に来ているのではないのでしょうか。当社会福祉協議会といたしまして、皆様が住み慣れた地域で明るく暮し続けることができるよう、行政や関係団体と連携し、地域力が向上するよう取り組んでまいります。

コロナ禍が早く終息し、東京オリンピック・パラリンピックが開催されるなど、本年が今までの同様、明るい地域社会となるように役職員一同努めてまいりますので、引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、町民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 ご協力ありがとうございました



令和2年度共同募金集計表

	一般募金	歳末募金
玉川	57,000	38,000
新宿	146,100	97,400
伏見	466,800	311,200
八幡	105,000	70,000
本長沢	69,900	46,600
長沢	180,000	100,000
柿田	130,000	90,000
堂庭	84,000	56,000
久米田	125,700	83,800
戸畑	32,940	21,960
的場	67,200	44,800
湯川	100,000	67,000
上徳倉	450,000	300,000
中徳倉	169,400	112,800
下徳倉	318,300	212,200
外原	138,900	92,600
卸団地	105,000	
街頭募金	5,119	
募金箱	5,137	
その他募金	63,271	80,000
合計	2,819,767	1,824,360

10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施されました。清水町におきましても、各世帯からの一般募金、町内各所で行われた街頭募金、静岡県共同募金会の口座へ振り込んでいただいた企業様など、様々な形で皆様より募金が寄せられました。

また、12月1日からは、歳末たすけあい募金を併せて実施し、各世帯からの一般募金の他、各種団体・個人の方々より、多額の募金が寄せられました。

共同募金で集められたお金は、静岡県共同募金会を通じ、赤い羽根共同募金は、社会福祉施設や民間福祉団体（社会福祉協議会など）の活動や運営として、歳末たすけあい募金は、地域で支援を必要としている方への援助として活用させていただきます。

ご協力ありがとうございました。



10月1日（木）にホームアシスト店頭とサントムーン柿田川正面玄関前にて赤い羽根共同募金街頭啓発活動を行いました。



清水町シニアクラブ連合会より頂いた雑巾は歳末慰問で訪問した各施設で活用しています。

静岡県社会福祉協議会会長表彰（敬称略・順不同）

令和2年度 静岡県健康福祉大会

○ 社会福祉施設の従事者として15年以上在職し、功績顕著であるかた

- ・ 佐藤 恵巳（社会福祉法人育清会柿田川ホーム）
- ・ 渡辺 静子（社会福祉法人育清会柿田川ホーム）
- ・ 杉山 綾（清水町立南保育所）
- ・ 瀬川 陽子（清水町立南保育所）
- ・ 矢後 光江（清水町立南保育所）

○ 市町社会福祉協議会の職員として15年以上在職し、功績顕著であるかた

- ・ 遠藤 典子 ・ 杉山 波子

今年度の健康福祉大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催が中止となりました。



受賞おめでとうございます

コロナ禍における高齢者の生活実態調査を実施しました

清水町生活支援体制整備事業

新型コロナウイルス感染症の終息がいまだ見えない中、私たちの生活環境・生活習慣は大きく変化し、心身の健康状態にも影響があるものと思われます。

そこで、清水町社会福祉協議会では、令和2年10月～11月にかけてコロナ禍における高齢者の生活環境・健康状態に関する実態アンケート調査を実施しました。

アンケート調査は、町内500人の高齢者へ留置法（配布回収法）で依頼して、365人から回答いただきました。

アンケート調査へご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

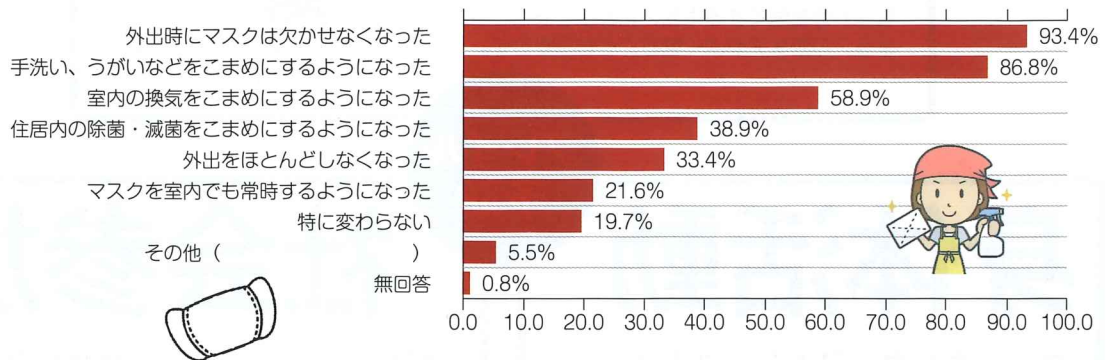
アンケートの設問は、新型コロナウイルス感染症発生前と発生後を比べた高齢者の生活様式、健康状態に関する変化や困りごとについて尋ねました。

アンケート調査の結果と詳細については、本会ホームページへ掲示しましたので閲覧いただければ幸いです。

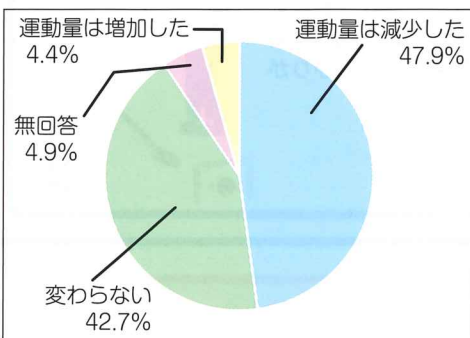
清水町社会福祉協議会ホームページ⇒<http://shimizu-syakyo.jp/>

『コロナ禍における高齢者の生活環境・健康状態の実態アンケート調査』結果から抜粋

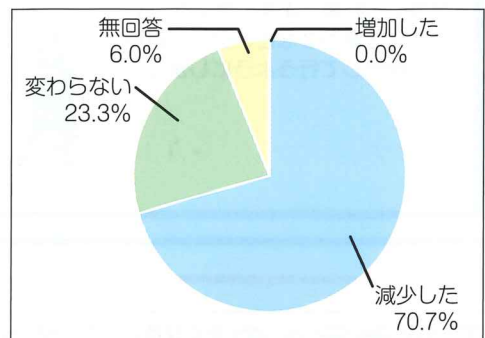
問 新型コロナウイルス発生で意識や行動面で変化があったもの



問 運動量の変化について



問 外出する機会の変化について



アンケート調査結果から、新型コロナウイルスの影響で、いきいきサロンや高齢者の集いといった地域でのつながりや健康づくりなどの活動自粛が続き、人との関わりが減少することにより、閉じこもりによる孤立や筋力・認知機能が低下することが懸念されます。

今後、以前と同じ活動を再開することは難しいかもしれませんが、社会福祉協議会では、高齢者の困りごとをしっかりと拾い上げ、従来の形にこだわらず、顔を合わせなくてもつながりを感じられる活動を含め、地域にあった活動を推進していきます。

在宅で暮らす高齢者とその家族のための相談窓口

清水町地域包括支援センター

☎ 981-1675

フレイル予防について

フレイルとは、高齢期になり体や心のはたらき、社会的なつながりが弱くなった状態のことを指します。そのまま放置すると生活機能が低下し、要介護状態になる可能性が高くなります。50歳から高血圧、糖尿病、肥満などの生活習慣病の予防と管理を行うことで脳卒中、心臓病、腎臓病のリスクを減らせます。早めに適切な取り組みを行うことで、介護予防や認知症の予防につながります。コロナ禍であり健康維持のためには、よりいっそうフレイル予防が重要になります。

栄養

バランスの良い食事・口腔機能の維持

毎日の食事には筋肉の元になる魚、肉、卵、大豆製品や骨を強くする牛乳、乳製品を多くとりましょう。口腔ケアやよく噛むことも重要です。



フレイル 予防

身体活動

ウォーキング・ストレッチなど

筋肉の発達だけでなく食欲や心の健康にも影響します。今より10分多く体を動かすなど、少しの運動でも継続して行うようにしましょう。



社会参加

趣味・ボランティア・就労など

地域のボランティア活動に参加することや、趣味活動など自分に合った活動を見つけましょう。社会とのつながりが大切です。



高齢者宅への訪問にご協力ください

80歳・85歳の方の安否確認や現状確認のため、清水町地域包括支援センター職員が感染対策をして訪問しています。

訪問者／清水町地域包括支援センター職員

対象者／80歳・85歳の方（要介護認定者等や在宅福祉サービスの利用者等を除く）

期 間／令和3年3月31日まで

詳 細／清水町地域包括支援センター ☎ 981-1675

地域活動支援センターのご案内

身体や精神、知的に障害のある方が、当センターの利用を通じ、地域において自立した日常生活を送ることができるよう支援するところです。

お気軽にお問い合わせ下さい。

場 所：清水町福祉センター内
 開 所 日：月～金曜日（土日祝日及び年末年始を除く）
 開所時間：午前10時～午後3時
 問合せ先：清水町地域活動支援センター
 ☎ 981-1673（相談支援事業所 ゆうすい）



創作活動

おしゃべりしながら



スクラッチアート



園芸活動



ボランティア連絡会交流会

～ジオサイト見学会～

11月9日(月)に町内の自然環境について理解を深め、会員同士の交流を図ることを目的とし、昨年拡張された清住緑地と丸池公園の散策を実施しました。

ジオパーク推進協議会の研究員による出前講座も現地で開催され、自然の成り立ちを学ぶことが出来たとともに清水町の良さを再認識しました。



ボランティア活動に興味がある方は、
 社会福祉協議会事務局（☎981-1665）までお気軽にお問い合わせ下さい。

常勤ヘルパー募集

勤務時間：午前8時30分から午後5時15分
 休日：土・日曜日
 夏期、冬期休暇あり
 時給：950円～、賞与あり
 その他：試用期間3ヶ月あり 年度更新

登録ヘルパー募集

勤務時間：午前8時30分から午後5時15分
 の間の都合の良い日時
 休日：土・日曜日
 時給：1,060円～ +活動費若干
 その他：小さいお子様のいる方は休みを融通します。
 勤務日・勤務時間は相談に応じます。

【共通事項】

資格：初任者研修（旧ヘルパー2級）、介護福祉士
 年齢：概ね50歳位迄（要相談）
 問合せ先：清水町ホームヘルプサービス事業所
 ☎981-1757（担当：高木）



プルタブ回収のお礼

皆様に回収（寄付）していただいたプルタブをリサイクル業者に引き取っていただきました。
 令和2年の1年間で44kg（約5,000円）になりました。
 皆様の善意は福祉用具等の購入資金とさせていただきます。予定です。
 ご協力ありがとうございました。
 今年もご協力をお願いいたします。



フードドライブのお礼

今年度8月と1月に実施しましたフードドライブでは、皆様からたくさんの食品を寄付していただきました。
 寄付していただいた食品は「フードバンク ふじのくに」を通じて支援を必要とされている方へ提供されます。
 ご協力ありがとうございました。



各種福祉総合相談をご利用ください

相談区分	内容	相談日・時間	連絡先
福祉総合相談 （生活相談）	生活上の心配ごとや困りごとの相談 権利擁護、福祉サービス利用等の相談 生活福祉資金、生活困窮相談	月曜日～金曜日 午前9時～午後5時	事務局 ☎981-1665
ボランティア相談	ボランティア活動を行いたい、ボランティア活動を受けたい等の相談		
高齢者の総合相談	介護保険・介護方法など介護に関すること 成年後見・虐待など権利擁護に関すること		地域包括支援センター ☎981-1675
障がい者（児）の相談	障害福祉サービスの利用・情報提供・社会生活一般 や権利擁護についての相談 サービス等利用計画の作成		相談支援事業所 ゆうすい ☎981-1673

※専門的な対応が必要とされる場合は、施設・行政・医療・保健機関や各種専門機関と連携して問題解決を目指します。
 ※相談は無料です。秘密は厳守します。

緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付制度について

新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少、休業、失業等により当座の生活費が必要な世帯や生計の維持が困難となり、生活再建までの生活費を必要とする世帯に対して、特例貸付制度の申請期限が3月末まで延長となりました。

ご相談の際は、社会福祉協議会事務局（☎981-1665）へ事前に予約をお願いいたします。

お知らせ

清水町社会福祉協議会では、聴覚、音声・言語障がいのある方の意思疎通を支援するため、手話通訳者と要約筆記者の派遣事業を実施しています。
 手話通訳、要約筆記の派遣を希望する方は、
 社会福祉協議会事務局（☎981-1665 / FAX 981-0025）までお問い合わせ下さい。

